

「(会議の経過)

| 発 言 者 | 議題・発言内容・決定事項 |
|-------|--|
| | <p>1 開 会</p> <p>2 外部評価委員紹介 各委員の紹介を行った。</p> <p>3 対象部局紹介 評価対象部局の紹介を行った。</p> <p>4 外部評価ヒアリング</p> <p>○概要説明 担当部局から概要説明を行った。</p> <p>○事務事業の妥当性 現在の施策評価シートの課題欄に、振り込め詐欺についての記載がないが、何か取り組みは行っているのか。</p> <p>委員 戸田ピースガードメールを活用し、予兆電話についての情報があった場合は、注意喚起を実施している。また、パトロールを実施している車のスピーカーを利用しながら注意喚起を行っており、様々な啓発は行っている。</p> <p>委員 犯罪といっても、様々な犯罪の種類があると思う。戸田市では、どのような犯罪がどのくらいの割合で起こっているのか。</p> <p>担当者 主に発生しているのは、自転車盗であり、次が侵入盗、車上荒らしの順番である。割合としては、自転車盗が大多数である。</p> <p>委員 多数を占めていないものについても、対策は講じているのか。</p> <p>担当者 委託している警備会社がパトロールをする際に、先の振り込め詐欺同様、</p> |

| | |
|-----|---|
| | <p>注意喚起をおこなったりして、対応している。</p> |
| 委 員 | <p>振り込め詐欺のほかに、最近では、はがきを50歳、60歳代向けに送付し、民事裁判を起こすことをほのめかすような、脅かす、騙す内容も文書を送って、不安をあおり、電話をさせるような、新しい詐欺が発生している。この内容に関する相談は、市で可能なのか。</p> |
| 担当者 | <p>我々の所属名は、「防犯くらし交通課」であり、その中には、消費相談窓口や市民相談窓口業務があるので、そこでご相談いただける。</p> |
| 委 員 | <p>年配の方には、しきりに手紙が来ているようであるので、相談できるという点について、ご周知願いたい。</p> |
| 担当者 | <p>メールのほか、注意喚起のチラシは作成して対応している。また、先に申し上げたとおり、相談窓口もあるので、防犯担当と連携し、対応しているところである。</p> |
| 委 員 | <p>はがきを送付されている方は、先のピースガードメールへの登録とか、電子機器の操作が難しいと感じる方が多いようであるので、紙媒体等も使いながら、対応をお願いしたい。また、警察に直接行くというのは、市民は大ごとと捉え、警戒しているようである。については、役所の窓口で、相談事業を行っていただきたいと考える。</p> |
| 委 員 | <p>地域ボランティアの方については、高齢化が進んでいるが、新しいパトロールの担い手、実施主体の新陳代謝は行われているのか。</p> |
| 担当者 | <p>平成29年度に、県内で自主防犯活動をやっている方が、課題を話し合う機会があったが、その中で、自主防犯活動の担い手の高齢化が進んでいることが挙げられていた。このように、話し合いを通じて課題を洗い出すことは実施している。</p> |
| 委 員 | <p>何かいい案はあったのか。</p> |

| | |
|-----|---|
| 担当者 | <p>例えば、夏休み期間中に、地元の子供を呼んで、一緒にパトロールを行い、意識付けを実施している。これは、長いスパンで考えれば、やがて自主防犯活動の主体になるであろう方を狙ったものである。</p> |
| 委員長 | <p>今説明のあった事業は、市が働きかけて行われた事業なのか。それとも自主防犯活動を行っている団体が考え、実施しているのか。</p> |
| 担当者 | <p>自主防犯活動を実施している方で考え、進めた事業である。ただ、市としてはその議論に参加するような形で、携わっている。ただし、課題とは認識しているが、具体的な解決策がないのが現状である。</p> <p>補足となるが、防犯パトロールに限らず、町会活動など、様々な団体があるが、全体的に高齢化を迎えているのが現実であるので、課題として捉えている。また、自前でも、町会でも、民間でも、様々な主体が防犯パトロールは実施しているが、どれか一つの主体だけがやるべきことではないと認識している。意識の高揚を図るためには、各主体とも、自らが実施する必要があるし、行政としてもそのように進めるべきである。先の会議の場でも、方向性は示されている状況である。</p> |
| 委員 | <p>とだピースガードメールを、いいとだメールに統合するといった説明があったが、どういうことか。</p> |
| 担当者 | <p>いいとだメールは、市全体の催し物などを発信するメールであるが、それに、ピースガードメールシステムを統合した。そのほかにも防災メール等のメールシステムを、情報部門で一本化することで、利便性の向上と効率化を図ったものである。メールの窓口は一本化されたが、送付希望のメールは選ぶことができるので、ピースガードメールの内容はそのまま送られる。</p> |
| 委員 | <p>そうすると、指標の「ピースガードメール」の登録者数は、基準値が変わるし、様々な情報が送られるということであれば、前提条件も変わるのではないか。</p> |

| | |
|-----|--|
| 担当者 | <p>その点はおっしゃる通りである。いいとだメールにしたことで、登録者数を把握するのは難しくなっている状況である。また、スマートフォンの普及により、toco ぷりというアプリケーションを使って、防犯情報を入手することもできるようになった。そのダウンロード数や、アプリによって防犯情報を入手している方も考慮しなければならず、指標のあり方については、検討したいと考えている。ピースガードメールに係る指標は、計画書上に掲載され、冊子化されているため、変更は難しいので、残しているが、担当としては、現状の数字を下げないように努めたい。</p> <p>○施策の進捗状況</p> |
| 委員 | <p>防犯カメラの設置補助について、補助額はどのように町会に提示されるのか。また、カメラの機種はどのように選定するのか。</p> |
| 担当者 | <p>あらかじめ、防犯カメラを設置するに当たり、最低限満たしていただきたい性能があるので、それを超えるように示している。また、補助額は、1台の上限額が40万円であり、1町会で3台まで補助することとしている。</p> |
| 委員 | <p>防犯カメラの取り扱い方など、コンプライアンスの観点も要件となっているのか。</p> |
| 担当者 | <p>防犯カメラ設置及び運用に関するガイドラインや補助金要綱を作成して、プライバシー保護に関する基準を設けている。例えば、町会において設置管理者を決めていただき、管理者または管理者が指名した操作担当者しか操作してはいけないことなどの基準を設けてもらうようにして、それがなければ補助要件は満たさないような仕組みとなっている。なお、設置された後の効果検証については、各町会で設置した防犯カメラが稼働開始してから間もない時期であり、具体的な検証はこれから行うが、各町会から補助金関連の報告書を提出してもらうことなどにより、町会において防犯カメラがガイドラインに沿って運用されているかどうか、確認をしていきたい。</p> |
| 委員 | <p>犯罪発生率を県で見ると、犯罪が100件違うと、順位が大きく異なっ</p> |

| | |
|------------|---|
| | <p>いる。現在は、自転車の盗難が約3割を占めているので、この部分の防犯を強化すれば、大きく順位が変わることとなる。犯罪発生率が下がれば、治安のいいまちとして、住みたい方が増えると思う。今後、シティセールスの観点からも、このような考えで、まずは、自転車の盗難を防ぐことを中心に進めてはどうか。現在先進的な取り組みは実施されているのか。</p> |
| <p>担当者</p> | <p>現状としては、例えば交通安全教室を開催するときに、自転車の鍵をかけることを周知するなど、啓発活動は積極的に実施している。また、警備員による委託業務を実施している状況である。</p> |
| <p>委員</p> | <p>今おっしゃったような取り組みは、もちろん必要であると認識しているが、おそらく、劇的な効果は望めないと思う。どのようなことをすればよいかというのは難しいとは思いますが、ある程度お金を投入しても、シティセールスという観点で捉えれば、犯罪発生率について良いイメージがあれば、転入者も増加すると思う。例えば、先進的な取り組みを実施している自治体があれば、それを参考として、抜本的な対策を実施してもよいのではないかと。</p> |
| <p>担当者</p> | <p>他市の事例は研究していきたいが、現状としては、今の事業で順調に犯罪発生率が下がっているので、引き続き進めていながら、新しい事例を考えていきたい。</p> |
| <p>委員</p> | <p>例えば、自転車盗難が多発しているところを把握して、そこを重点的に取り締まるとか、そのようことでも効果が出るように思うが、いかがか。</p> |
| <p>担当者</p> | <p>先ほど、委員から抜本的な案を示すのが難しいという話があったが、担当としても、それは難しいと認識している。現在、同じ課に交通安全担当もあり、駅前の自転車駐車場の管理を行っている。その整備を行った際に、駅前における自転車盗は減った経過がある。犯罪発生率が減った要因の一つと認識している。しかしながら、例えばマンションであるとか、ショッピングセンターなどにおける自転車盗については、警察ではないため、すべてを把握できないのが実情である。民間の施設における事件に、どこまで介入できるかが課題であり、研究していきたい。</p> |

| | |
|------------|---|
| <p>委員長</p> | <p>それをクリアするためには、例えば、警察からの情報提供など、関連する情報の共有が必要であると思う。</p> |
| <p>担当者</p> | <p>直接市で情報を見ることができないが、本施策の担当課長は、埼玉県警から出向された課長であり、多くの事例を見てきた経過もある。市役所と警察のコンプライアンスを守りながら、連携を図っていきたいと考えている。なお、他の自治体では、自転車盗難防止のため、鍵のかかっていない自転車に強制的に鍵をかけているところもある。しかし、このように都市化された戸田市において、それをやっていくのは、市民への周知と理解がどれだけ得られるかが課題となる。については、まずは、研究していきたいと考える。</p> |
| <p>委員</p> | <p>○今後の方向性 自主防犯パトロールの回数と犯罪件数について、あまり回数を増やしている効果が見えない指標となっていると思われるが、この因果関係はどう考えるか。また、効果的なパトロールを実施するよう工夫しているのか。</p> |
| <p>担当者</p> | <p>一般的には、パトロールの実施回数と比例するものであると理解している。なお、現状としては、夜間に重点を置いてパトロールを行うことが、先ほどの高齢化等の観点からも、難しくなってきており、日中のパトロールにシフトしている状況である。したがって、パトロールの時間帯やエリアは、効果的に実施するようにしている。例えば、児童・生徒の登下校の時間帯に注力して実施するとか、自主防犯団体に負担をかけないように、かつ効果的になるよう、手法を考えながら実施している。</p> |
| <p>委員</p> | <p>最近、さいたま市内のコンビニエンスストアにおいて、「シェアサイクル」を実施しているが、本施策はこの事業に該当するのか。</p> |
| <p>担当者</p> | <p>本施策ではなく、交通対策に関する施策であり、情報を得ている状況である。現段階では、交通対策の観点で進めている。この部分についても、担当としては、今後の研究テーマの一つとして捉えている。</p> |

| | |
|-----|---|
| 委員 | <p>地域との連携によって防犯活動を実施することを目標としているが、「地域」という概念は、担当としてはどのように考えているのか。地域コミュニティの観点や学校を通じてという観点もあると思う。他の施策とも連携してすすめることが不可欠と考えるが、具体的な例はあるのか。</p> |
| 担当者 | <p>現在は、不審者情報を教育委員会に提供したり、逆に情報提供があれば、不審者情報をメールで流している。</p> |
| 委員 | <p>おそらく、今のような取り組みは全国各地で実施されている話であると思う。戸田市の防犯体制の能力が、本施策において、市内の地域コミュニティの中で育成されるのか、また、教育委員会に関する事業として、防犯体制の能力が育成されるのか、この点についてお聞かせいただきたい。</p> |
| 担当者 | <p>現状としては、主に情報提供、共有はしているが、その点について具体的な議論はされていない。教育委員会においては、学校内の事業、教育委員会としての事業として完結してしまうことも多い。連携が困難なケースもあるのが現状である。また、災害が発生し、その後治安が悪くなったという観点で、防災からの観点の防犯や、不法投棄は防犯の一つではないかといった議論、地域のインフラ整備の際に、マンション建設で死角ができるようなことは、開発行為において極力避けるようにすることなど、防犯という概念は幅広いものなので、全庁的な意識の高揚が必要であると考えている。これは、組織のあり方についての話にも及ぶと理解している。また、防犯意識の高揚を目的の一つとして、管理職による防犯パトロールを実施しているが、効果はあまり高くないと感じており、今後の課題であると認識している。</p> |
| 委員長 | <p>その観点は、組織上の大きな課題であると思う。他の施策の評価シートにおいても、その観点は再掲するなど、対応をすべきと感じる。次期総合振興計画策定時に議論すべき点である。</p> |
| 担当者 | <p>全ての部局に関わってくると思っているので、検討すべきと考える。</p> <p>○その他</p> |

| | |
|-----|---|
| 委員 | <p>実際に市内で犯罪を犯すのは、どのような方が多いのか把握はしているのか。</p> |
| 担当者 | <p>感覚的な答えとなってしまいが、少年や、高齢者で、市内在住の方が多。</p> |
| 委員 | <p>今後の解決策として、まず、犯罪を犯した人を捕まえるよりも、未然に防ぐための啓発活動が重要であると考えている。したがって、犯罪情報の収集を行い、犯罪を犯す比率の多い層をターゲットとし、その方々に向けた教育・啓発活動を行っていただきたい。</p> |
| 委員 | <p>防犯灯について、LED ランプに切り替えた経過の指標が存在するが、この指標は何のために指標化しているのか。商店会で防犯灯をつけている場合に、商店会に加入していないため、それぞれで維持できず、市が維持管理を実施していると聞いたが、そのような話を解決するために、LED 化を進めているのか。</p> |
| 担当者 | <p>事務事業において指標化しているのは、震災時に、防犯灯の LED 化が必要となったことをきっかけに、事務事業の取り組みの一つとして進めているものである。戸田市においては、各町会や民家で設置及び維持管理してきた経過がある。町会が中心に管理してきたところであるが、公道に設置されているものは市で管理し、私道に設置されているは町会で管理するというように役割分担を実施し、そのうち市が管理する防犯灯は、LED 化を進めてきた経過である。現在、ほぼ LED 化を進めてきた経過である。現在、ほぼ LED 化は終了しており、区画整理事業地内が残っているのみである。したがって、この事業の予算は、市が管理する防犯灯の電気代の支払いや修繕料がメインとなっている。また、防犯灯は、管理台帳によって管理を行っており、台帳の作成やシステム管理は業務に委託しているので、その費用も含まれている。また、町会・自治会が私道に設置する防犯灯については、市で補助も行っており、その予算も事業に含まれている状況である。</p> <p>5 閉 会</p> |